

(特用作物-いぐさ-栽培)

(筑後-い草栽培)

課題名	2 いぐさ先刈方法の改善		分類	①																														
	(1) いぐさ早刈栽培における先刈方法																																	
試験研究年次	62~1年(完了)																																	
<p>I 目的 早刈栽培いぐさでは、従来先刈りは行われていないが、作柄の安定化と品質向上を図るための先刈方法を明らかにする。</p>																																		
<p>II 試験方法</p> <p>1 供試品種 ふくなみ</p> <p>2 試験区の構成</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">62年</th> <th colspan="2">63年</th> <th colspan="2">1年</th> </tr> <tr> <th>先刈期</th> <th>先刈高さ</th> <th>先刈期</th> <th>先刈高さ</th> <th>先刈期</th> <th>先刈高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刈取前66日</td> <td>35cm</td> <td>66日</td> <td>35、40cm</td> <td>65日</td> <td>40cm</td> </tr> <tr> <td>" 60</td> <td>35、40、45cm</td> <td>60</td> <td>35、40、45cm</td> <td>60</td> <td>35、40、45cm</td> </tr> <tr> <td>" 55</td> <td>35、40、45cm</td> <td>55</td> <td>40、45cm</td> <td>55</td> <td>40、45cm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(標) 無先刈り</p> <p>3 耕種概要 (1) 植付時期 62年と63年は11月21日(62、63年) 1年は11月22日(1年) (2) 刈取時期 3カ年とも6月20日 (3) 栽植密度 39.2株/m²(17cm×15cm) (4) 施肥量(N成分) 52kg/10a</p> <p>4 試験規模 1区 10.8m²、2区制</p>					62年		63年		1年		先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ	刈取前66日	35cm	66日	35、40cm	65日	40cm	" 60	35、40、45cm	60	35、40、45cm	60	35、40、45cm	" 55	35、40、45cm	55	40、45cm	55	40、45cm
62年		63年		1年																														
先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ																													
刈取前66日	35cm	66日	35、40cm	65日	40cm																													
" 60	35、40、45cm	60	35、40、45cm	60	35、40、45cm																													
" 55	35、40、45cm	55	40、45cm	55	40、45cm																													
<p>III 主要成果の概要</p> <p>早刈栽培のいぐさについても、先刈りを適度に行うことにより、変色茎の割合が減少し、1m乾茎重も増加することを明らかにした。</p> <p>1 先刈時の生育量が1年のように少ない(1株茎数が60本以下)場合には、先刈りを行うと、減収する傾向はみられるものの、変色茎の減少、1m乾茎重の増加により原草の品質は向上するので早刈栽培においても先刈りは必ず行う。</p> <p>2 先刈時期が刈取前55日程度に遅い場合には、先刈りの高さを35~40cmにすると、減収することがあるので、高さは45cmが適当である。</p> <p>3 先刈時期は、刈取前55日が65、60日より先枯れ茎数の減少、1m乾茎重の増加により品質が向上する。但し、1年のように1月の気温が低く、1株茎数が少ない年次においては先刈時期による差はみられなかった。</p> <p>4 収量・品質面から判断すると、早刈栽培における適正な先刈法は、刈取前55日、先刈の高さは45cmである。</p>																																		

Ⅳ 主要成果の具体的データ

第2表 先刈りの時期・高さ・高さとの収量

先刈り期	高さ	長茎重標準比 (%)		
		62年	63年	1年
刈取前	cm			
	35	104	100	-
65	40	-	106	96
	35	95	97	102
60	40	107	101	94
	45	99	104	95
55	35	96	88	-
	40	100	91	89
	45	104	99	95
無先刈り	-	100 (742)	100 (863)	100 (805kg/10a)

第1表 先刈り時の生育

年次	茎長 茎数	
	cm	本/株
62	49	74
63	58	77
1	55	60

注) ① 調査は刈取前60日
② 6反復の平均値で示した。

第3表 先刈りの時期・高さとの原草品質

先刈り期	高さ	62年				63年				1年			
		老熟 茎 割合	先枯 茎数 率	変色 茎数 率	1m乾 茎重 g/100本	老熟 茎 割合	先枯 茎数 率	変色 茎数 率	1m乾 茎重 g/100本	老熟 茎 割合	先枯 茎数 率	変色 茎数 率	1m乾 茎重 g/100本
刈取前	cm	%	%	%	g/100本	%	%	%	g/100本	%	%	%	g/100本
	35	25	10	6.9	34.4	27	19	5.2	35.7	-	-	-	-
65	40	-	-	-	-	26	20	5.2	36.2	34	40	7.7	35.9
	35	31	6	5.0	36.6	25	13	5.9	36.2	30	34	7.2	36.4
60	40	25	13	6.0	35.7	25	14	5.9	36.4	34	38	5.0	34.9
	45	28	13	5.6	35.4	24	15	5.9	36.4	33	43	7.7	35.6
55	35	28	8	5.5	35.5	24	12	5.3	36.6	-	-	-	-
	40	28	8	4.5	35.3	24	12	5.4	36.8	31	46	8.0	34.9
	45	26	9	5.7	37.3	23	10	5.6	36.7	28	42	7.5	35.9
無先刈り	-	29	7	5.4	34.8	25	20	6.7	35.1	29	37	10.2	34.7

注) ① 調査対象は先枯茎数率：茎長105~120cm、老熟茎割合、変色茎数率：105cm以上の茎
② 1m乾茎重の調査部位は根元から3~103cm

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 早刈栽培における先刈り方法の参考資料となる。
- 2 早刈栽培いぐさの品質は気象による変動が大きく、年次により良質いぐさの生産が期待できないので今後は早刈栽培は減らし、中間刈、普通刈栽培を中心に作付する。
- 3 1年の先枯れ茎数率は先刈り時の生育量が少なかったため、先刈り時期の早晚に関わらず、全般的に高かった。

Ⅵ 今後の研究上の問題点

Ⅶ 資料名 62~元年度 福岡県農業総合試験場筑後分場 いぐさに関する試験成績書